

2006 SEPTEMBER Vol.35

フランチャイズビジネスで
成功したい人の情報誌

<http://www.franja.co.jp>

FRANJA

『フランジャ』

「僕たちのフランチャイズ」

～事業再生&多角化にFC活用～

従来事業 **ガソリンスタンド** + 新規事業 **車買取専門店FC、中華ダイニング、新車販売FC**

従来事業 **皮革染色業** → 新規事業 **個別指導学習塾&外食FC**

従来事業 **OA機器販売業** + 新規事業 **内職サービスFC**

従来事業 **ゴルフ場レストラン受託運営** + 新規事業 **自然派buffetレストラン**

従来事業 **貸しおしぼり業&レンタルマット** + 新規事業 **トイレ総合サービスFC**

FRANJAレポート

「おむらいす亭」民事再生申立の波紋

『FRANJA』
ニューフェース

Don Don Down on Wednesday / かつや
ジャパン美健サロン / ウイングガーデン

編集長インタビュー

- 『ほっかほっか亭』創業者 田渕 道行
- ほっかほっか亭総本部社長 青木 達也

本質は創業・経営 理念の継承だった

連載

ガリバーの研究～語り継ぐカリスマ～ CoCo壱番屋①
FC本部選びに勝つ! 決算の読み方 = 篠崎屋
検証・変わる! この業界 = 100円ショップ編

メガフランチャイジー群像

 ●みちのくジャパン社長 小原 寛

FC講座

- フランチャイジー希望者はどこで何を相談したらいい!?
- 本部の民事再生、破産、生産……。加盟店の影響はどう違うの!?

イベント告知

「2006 FRANJAフランチャイズエキシビション」を開催!

を進めていく。

定食と丼の『めしや井』が ごはん処『やよい軒』へ 屋号変更

九州・山口地区、静岡以北で持ち帰り弁当の『ほっかほっか亭』をフランチャイズ（FC）展開しているプレナス（本社・福岡市、塩井辰男社長）は1989年から展開してきた定食と丼の店『めしや井』の屋号を、ごはん処『やよい軒』と変更することになり、順次移行を進めており、7月1日段階で131店のやよい軒が誕生している。

これは定食中心にメニューが構成されているものの、めしや井の屋号から受けるイメージが実態を反映していないことから、幅広い客層に利用してもらうために、ごはん処やよい軒としたもの。

やよい軒の定食メニューは約30種類あり、その全てが手作りで、ごはんも炊き立てを提供している。価格は600円台が中心で、より快適な空間で食事を楽しんでもらおうという狙いがある。

やよい軒はプレナスの創業者で現会長の塩井末幸氏の祖父・民次郎氏が、明治19年から東京・日本橋茅場町で西洋料理店を営業していた店の名前が『彌生軒』だったことに由来している。



『めしや井』から『やよい軒』へと店名変更し、看板も順次替えつつある

この彌生軒は文豪、谷崎潤一郎の回想記「幼少時代」にも記され、多くの人たちが親しんだ店だったという。やよい軒はこの明治時代に新たな食文化に挑戦した精神を受け継ぎ、日本の食文化を担っているごはんが中心となる定食を、新しいスタイルで提供していこうというもの。

アメニティの「トイレ診断士」 が発足10周年で記念式典



「トイレ診断士」10周年記念式典であいさつする坂口力・元厚生労働大臣

トイレの総合メンテナンス事業「アメニティネットワーク」をFC展開しているアメニティ（本社・神奈川県横浜市、山戸里志社長）は、社内検定制度の『トイレ診断士』が制定されて今年で10年目を迎えたのを記念して、7月8日、大阪・心斎橋の「ハートンホール」で記念式典を開催した。

式典には全国の加盟店から約100名のトイレ診断士が集い、元厚生労働大臣の坂口力衆議院議員も出席、トイレ診断士に対するお祝いと激励の言葉を贈った。

当日は赤松正雄・厚生労働副大臣からのお祝いのメッセージも寄せられた。また、レセプションでは三遊亭小遊三師匠の落語、神田ひまわり氏の講演など「厠寄席」も行われ、会場は大いに盛り上りをみせた。

10周年を迎えた喜びと共に、改めて、今後のトイレのあり方についてトイレ診断士が担う社会的な役割と責任を感じる一日となったようだ。

トイレ診断士は2003年に厚生労働省の社内検定制度で認定を受けている。

ロッテとリヴァンプが『クリスピー・クリーム・ドーナツ』 を日本でFC展開

ロッテ（重光武雄社長）と企業再生ビジネスを手がけるリヴァンプ（澤田貴司代表）の2社は、米国ドーナツチェーン大手の『クリスピー・クリーム・ドーナツ』（KKD）とフランチャイズ（FC）契約を締結し、6月下旬、日本で展開するクリスピー・クリーム・ドーナツ・ジャパン（KKDJ）を設立した。

社長には日本マクドナルドで店舗運営の標準化や顧客満足度向上に携わった経験を持つ香坂伸治氏を起用した。KKDJの資本金は2億5000万円で、ロッテが70%、リヴァンプが30%をそれぞれ出資している。

KKDは米国ノースカロライナ州に本拠を置き、ファストフード業界のリーディングブランドとして全米で約400店の『クリスピー・クリーム・ドーナツ』を展開していた。だが、本誌の「USA情報」にあるように、米国では株価が低迷し、証券取引委員会が調査に乗り出すなど、混乱状況にある。

KKDJは今秋をメドに都内で1号店を出店、5年後には首都圏で30～50店に増やす計画。その後、全国主要都市の駅ビルやハンバーガーショップ『ロッテリア』をFC展開しているロッテリアと共同でショッピングセンターに出店していくことも視野に入れている。

クリスピー・クリーム・ドーナツは客の前で作るのが特徴で、店内の専用機械で揚げたばかりのドーナツを熱いまま提供する。口の中で溶けるような柔らかい食感が売り物。今後は大型の専用機械ではなく、小型化して投資コストを下げていくとし